

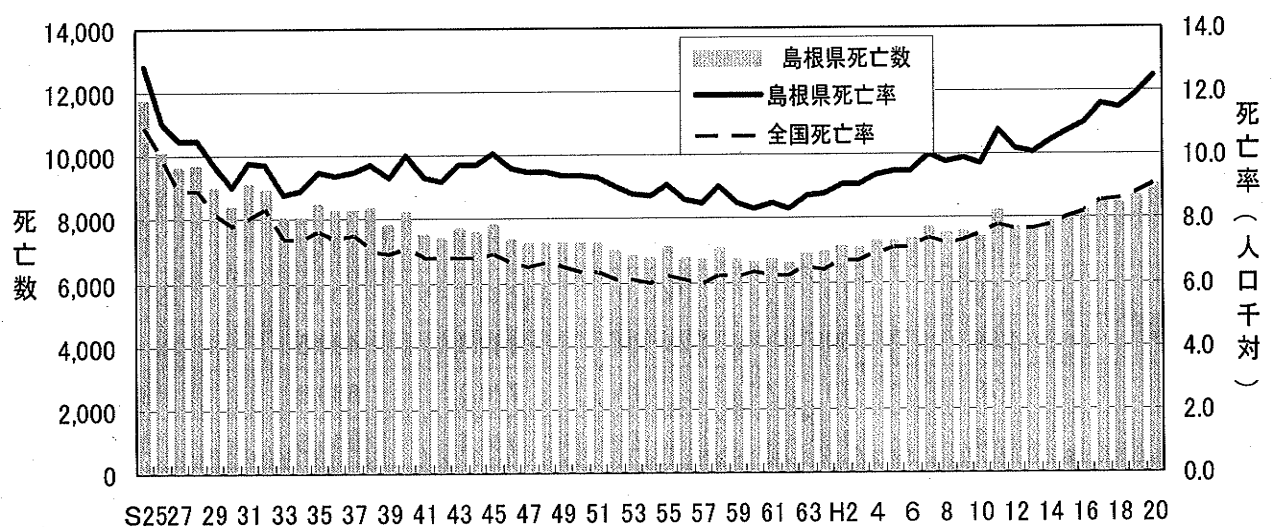
### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成 20 年の死亡数は 9,011 人で、前年の 8,660 人より 351 人増加し、死亡率(人口千対)は 12.5 で、前年の 11.9 より 0.6 上昇した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けている (図 4)。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率(人口 10 万対)をみると、20~24 歳、25~29 歳、35~39 歳、60~64 歳、65~69 歳及び 80 歳以上で前年より増加した。

死亡率性比(男性の死亡率/女性の死亡率×100)を年齢階級別にみると、5~9 歳を除くすべての年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している(表 4)。

表4 年齢(5歳階級)別死亡数・死亡率(人口10万対)・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成20年	平成19年	対前年増減	平成20年	平成19年	対前年増減	
総数	9,011	8,660	351	1,251.5	1,192.8	58.7	114.8
0～4	14	19	△ 5	48.3	65.5	△ 17.2	124.4
5～9	4	8	△ 4	12.5	25.0	△ 12.5	33.3
10～14	-	2	△ 2	-	6.1	△ 6.1	.
15～19	14	20	△ 6	41.2	55.6	△ 14.4	346.2
20～24	23	15	8	69.7	45.5	24.2	338.8
25～29	22	19	3	62.9	52.8	10.1	175.0
30～34	30	35	△ 5	71.4	79.5	△ 8.1	222.7
35～39	34	28	6	81.0	68.3	12.7	161.6
40～44	49	58	△ 9	128.9	152.6	△ 23.7	226.7
45～49	75	85	△ 10	178.6	197.7	△ 19.1	294.7
50～54	138	147	△ 9	293.6	300.0	△ 6.4	174.1
55～59	289	309	△ 20	489.8	490.5	△ 0.7	270.9
60～64	378	331	47	726.9	689.6	37.3	263.5
65～69	443	416	27	984.4	945.5	38.9	221.0
70～74	746	792	△ 46	1,554.2	1,616.3	△ 62.1	267.8
75～79	1,171	1,246	△ 75	2,545.7	2,708.7	△ 163.0	255.0
80～	5,581	5,130	451	7,972.9	7,656.7	316.2	152.5

注(1):死亡率性比=男性の死亡率/女性の死亡率×100

(2):年齢階級10歳～14歳は死亡者がいなかったため、死亡率性比については計上していない。

## (2) 死因

### ①死因順位

平成20年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,543人(人口10万対死亡率353.2)、第2位は心疾患で1,392人(死亡率193.3)、第3位は脳血管疾患で988人(死亡率137.2)となっている(表5)。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は年々徐々に上昇し、昭和59年には脳血管疾患を抜いて死亡原因の第1位になり現在に至っている。脳血管疾患の死亡率は低下傾向にあり、平成12年からは第3位に下がった。肺炎は上昇傾向にあり、平成20年は130.6と脳血管疾患に迫る死亡率となった。老衰はほぼ横ばいに推移していたが、平成19年から2年連続で上昇している(図5)。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

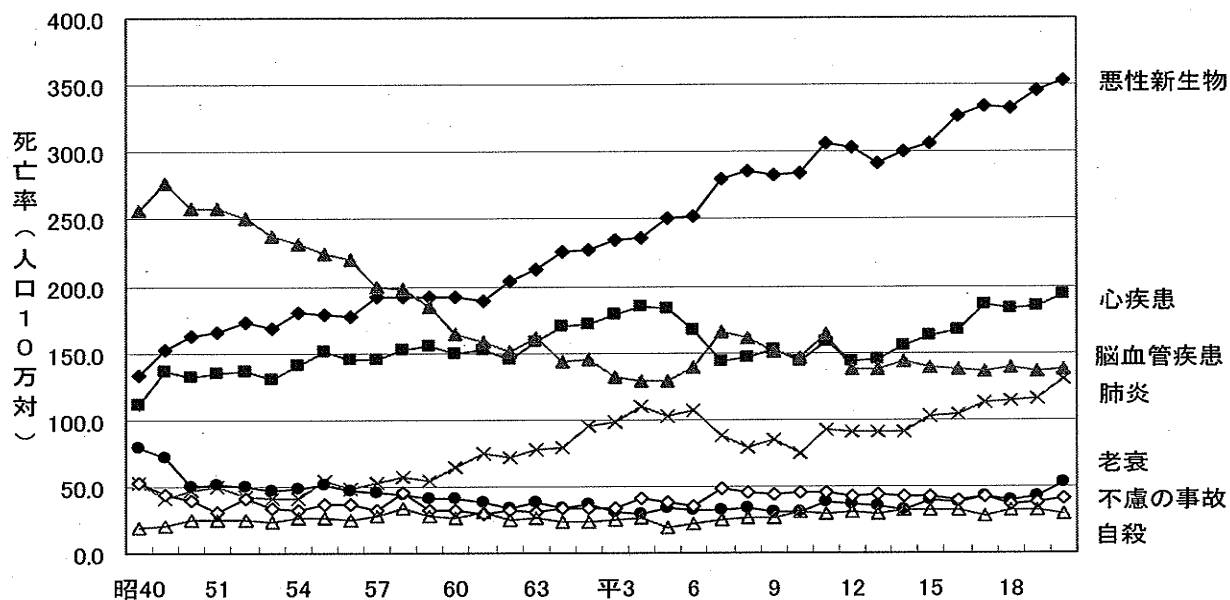


表5 死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位;性別

死 因	平成 20 年									平成 19 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,543	353.2	1	1,490	434.4	1	1,053	279.3	1	2513	346.1
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,392	193.3	2	639	186.3	2	753	199.7	2	1343	185.0
脳血管疾患	3	988	137.2	4	448	130.6	3	540	143.2	3	985	135.7
肺炎	4	940	130.6	3	522	152.2	4	418	110.9	4	845	116.4
老衰	5	380	52.8	10	78	22.7	5	302	80.1	6	312	43.0
その他の呼吸器系の疾患	6	350	48.6	5	188	54.8	6	162	43.0	5	340	46.8
不慮の事故	7	297	41.3	6	185	53.9	8	112	29.7	7	280	38.6
自殺	8	215	29.9	7	160	46.7	11	55	14.6	8	233	32.1
腎不全	8	215	29.9	9	85	24.8	7	130	34.5	9	184	25.3
その他の消化器系の疾患	10	155	21.5	10	78	22.7	9	77	20.4	10	150	20.7

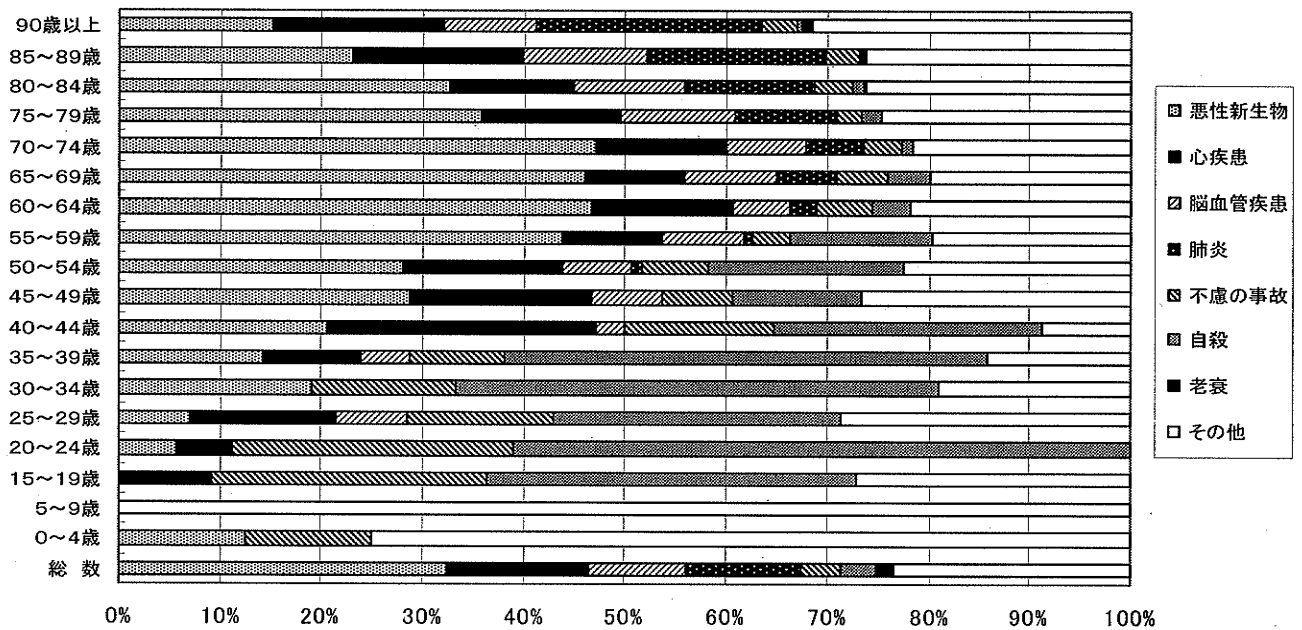
注:男性の8位は「慢性閉塞性肺疾患」で死亡数 109・死亡率 31.8である。

女性の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数 60・死亡率 15.9である。

## ②年齢別死因

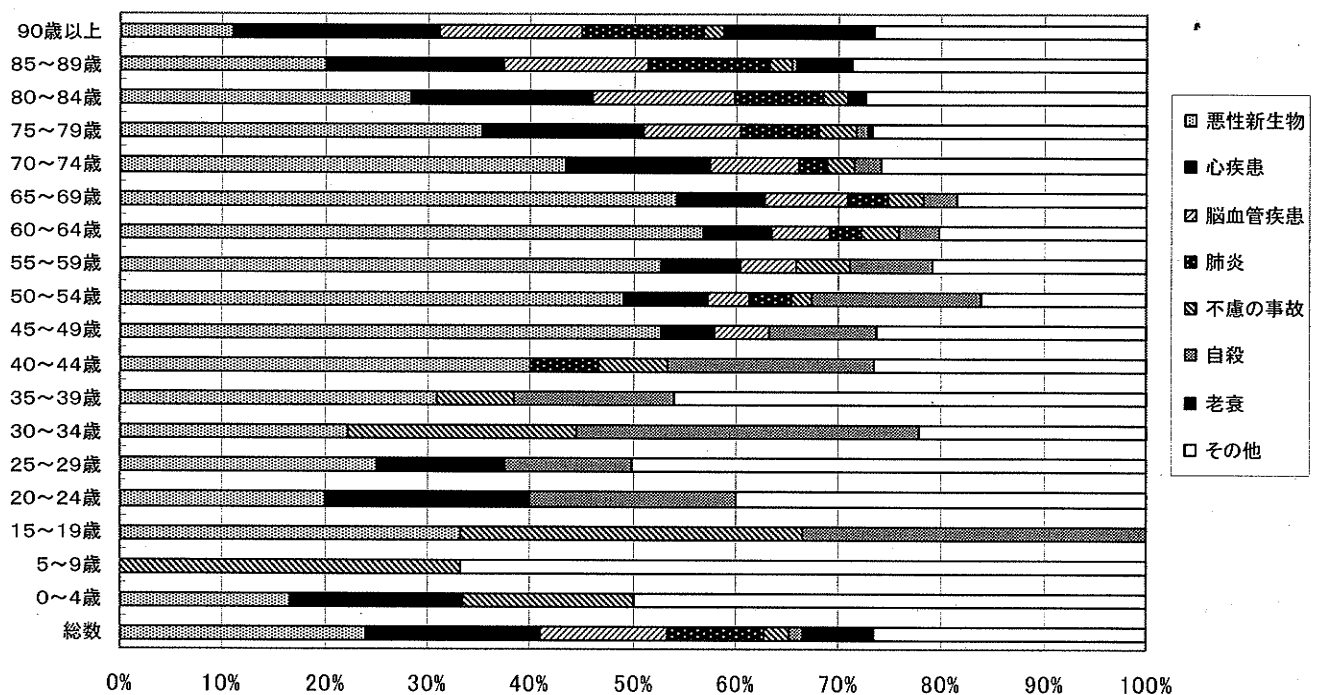
平成20年の死因を性・年齢（5歳階級）別構成割合から見ると、年齢が高くなるに従って悪性新生物の占める割合が高くなっており、70歳代頃からは、心疾患、脳血管疾患、肺炎の割合が次第に高くなってきている（図6）。

図6-1 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）



注：年齢階級10歳～14歳は、死亡者がいなかったため、省略した。

図6-2 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



注：年齢階級10歳～14歳は、死亡者がいなかったため、省略した。

### ③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性については大腸が上昇し、胃、肺及び肝が下降している。女性については、肺、肝、大腸及び子宮が上昇し、乳房及び胃が下降した(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	13	14	15	16	17	18	19	20
死亡数													
【男性】													
胃	250	314	293	273	263	216	243	230	233	230	206	250	231
肺	19	61	82	169	250	272	288	282	341	363	316	358	331
肝	54	55	65	121	206	182	164	181	179	191	173	174	165
大腸*	23	42	48	79	151	138	142	155	139	164	160	136	182
【女性】													
胃	165	179	202	149	159	145	153	153	150	152	125	149	146
肺	8	18	32	52	109	110	112	91	91	107	124	113	124
肝	37	33	35	55	89	85	100	76	96	90	80	89	100
乳房	18	16	25	28	38	55	53	56	74	54	71	69	60
子宮	93	71	57	40	38	24	31	31	26	21	31	33	38
大腸*	30	44	48	85	123	129	125	150	139	150	165	146	168
死亡率													
【男性】													
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2	59.0	72.3	67.3
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8	90.5	103.5	96.5
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1	49.6	50.3	48.1
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5	45.8	39.3	53.1
【女性】													
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3	32.6	39.2	38.7
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6	32.4	29.7	32.9
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3	20.9	23.4	26.5
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0	18.5	18.2	15.9
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4	8.1	8.7	10.1
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8	43.1	38.4	44.6

注:大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(男性)

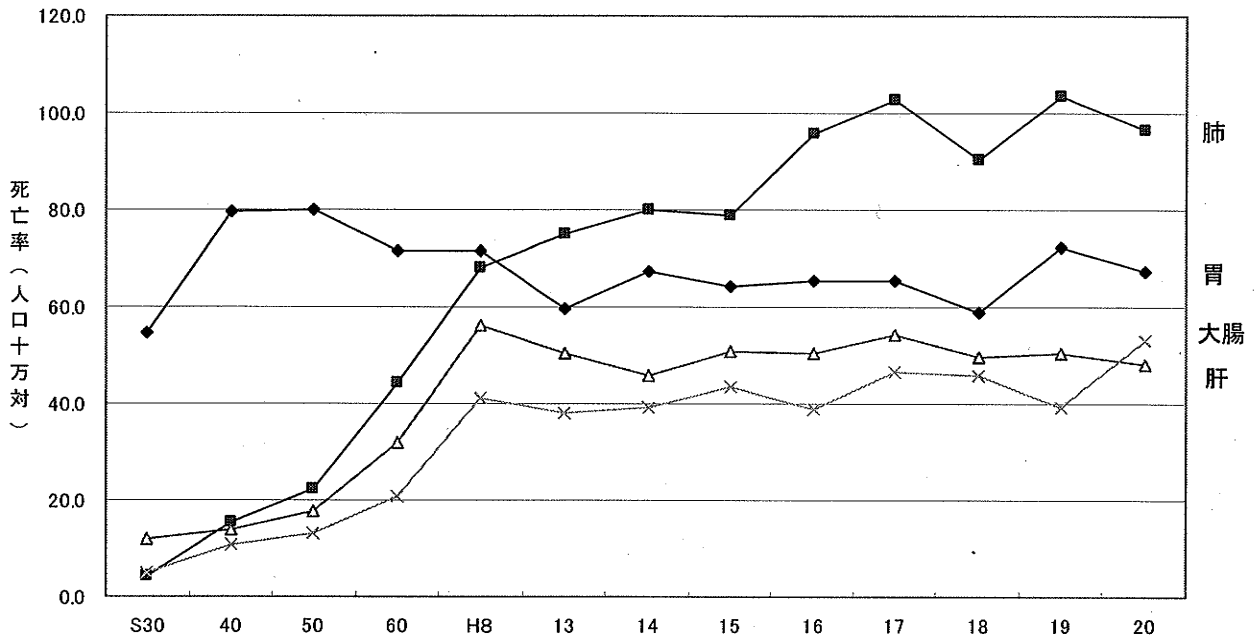


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率(人口 10 万対)の年次推移(女性)

